



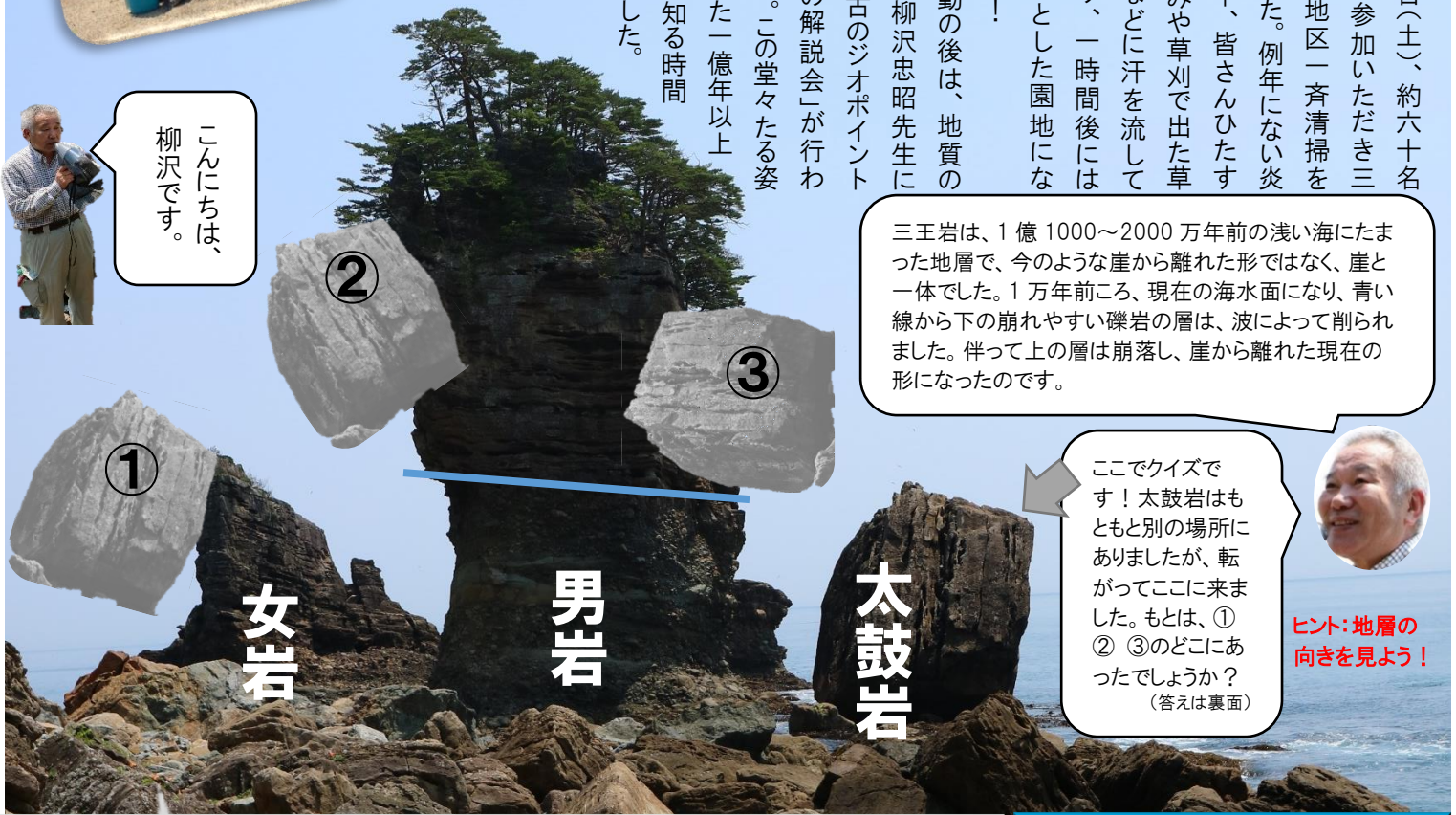
三王・真崎地区一斉清掃と解説会

七月八日(土)、約六十名の方に参加いただき三王・真崎地区一斉清掃を行いました。例年にならぬ炎天下の中、皆さんひたすらに、「みや草刈で出た草の収集などに汗を流してください」と、一時間後にはすっきりとした園地になりました！

清掃活動の後は、地質の専門家・柳沢忠昭先生による「宮古のジオポイントによる三王岩の解説会」が行われました。この堂々たる姿に刻まれた一億年以上の歴史を知る時間となりました。



こんにちは、柳沢です。



三王岩は、1億1000～2000万年前の浅海にたまった地層で、今のような崖から離れた形ではなく、崖と一体でした。1万年前ころ、現在の海面になり、青い線から下の崩れやすい礫岩の層は、波によって削られました。伴って上の層は崩落し、崖から離れた現在の形になったのです。

ここでクイズです！太鼓岩はもともと別の場所がありました。転がってここに来ました。もとは、①②③のどこにあったでしょうか？
(答えは裏面)



ヒント：地層の向きを見よう！

白さ際立つ浄土ヶ浜をみんなの手で！ 〈自然公園クリーン作戦〉

8日の三王・真崎地区に続き、15日(土)は、浄土ヶ浜で自然公園クリーン作戦。157名の方に参加協力いただきました！この日のメインの作業は、波が運んできた黒い石や、コンクリート片、ゴミ、ガラスなどを取り除き、白い浜をさらに白くする活動。30℃を超える暑さの中、皆様の熱心に取り組む姿勢には郷土愛を感じました。清掃後は、「宮古のジオポイント浄土ヶ浜解説会」。成り立ちを知るとより一層この景観を大切にしたいと思いますね。



約4千万年前に地下で固まったマグマなのです！

浄土ヶ浜 海開き！



7月15日(土)

浄土ヶ浜海開きしました！今年はこちらが宮古市内唯一の海水浴場。警察官警戒所も開所し安心・きれいな浄土ヶ浜。駐車場～海水浴場の無料循環バスも運行中。ぜひおこしください！（海水浴は8月20日まで）

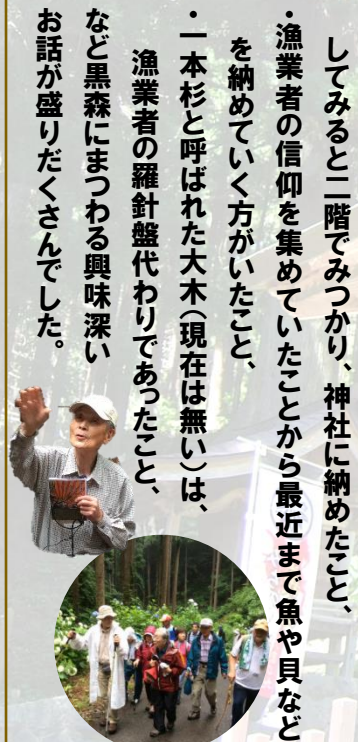
ウォーキングイベント
「黒森さんまで一緒に
歩きませんか？」

漁業・交易を守る山として信仰され続けている黒森山の黒森神社。七月十六日(日)の例大祭に併せてウォーキングイベントを開催しました。

山口公民館から神社境内まで約一時間のウォーキング、祖父杉(おじすぎ)・祖母杉(おばすぎ)見学、境内で神事、ふれあい館で神楽鑑賞のフルコース。開始時には土砂降りだった雨があがると紫陽花は一層彩りを増し、約四十名の参加者の目を楽しませてくれました。

ウォーキング同行のガイドさんからは、
・黒森は女人禁制の山であったこと、
・日中でも真っ暗な山であったこと、
・山の神が、春になると山から下り、
田の神となるため「田の神」という地名があること、
総代会の川原田氏からは、

文化財指定された南北朝時代の権現様が実家で見つかったきっかけは、お母さんの具合が悪くなった時のイタコさんの言葉。「大事なものを粗末に扱っている」と言われ、探してみると二階でみつきり、神社に納めたこと、
漁業者の信仰を集めていたことから最近まで魚や貝などを納めていく方がいたこと、
一本杉と呼ばれた大木(現在は無い)は、
漁業者の羅針盤代わりであったこと、
など黒森にまつわる興味深いお話が盛りだくさんでした。



みやこ浄土ヶ浜遊覧船
ナイトクルーズ

7月7日七夕の夜、みやこ浄土ヶ浜遊覧船「星空観察試乗会」を行いました。夕暮れとともに出航、船上で夜空を待ち、星空観察しようという企画。しかしこの日は十三夜。お月様が輝きすぎて、彦星(アルタイル)と織姫(ベガ)には会えませんでした。夜空の移ろい、^{なぎ} 凧の海に映る月明りの美しさに皆うっとり。浄土ヶ浜は夜の遊覧も魅力的。今後も様々な楽しい企画のクルーズがあるといいですね。

短冊に願いを



後ろには三王岩！



106 急行
ジオポイント
ラッピングバス
運行中！



前には早池峰山！

本州最東端 重茂半島 鮫ヶ崎 鮫ヶ崎灯台 一般公開

七月十六日は鮫ヶ崎灯台の一般公開日でした。駐車場から灯台まで自然歩道を歩くこと約一時間。あいにくのお天気でしたが多くの皆さんが訪れました。次の一般公開予定は十月。約一億三千万年前の崖の上の灯台から眼下に広がる大洋を眺めてみませんか？

十月の一般公開日には、
鮫ヶ崎ウォーキングイベント開催予定！

宮古のジオポイントパンフレット



www.facebook.com/Miyako.Geopark



www.twitter.com/Miyako_Geopark



ジオ発見新聞バックナンバー



柳沢先生クイズ答え③

